

## 【NEWS RELEASE】

2026年2月12日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ  
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行グローバル戦略的アライアンスの強化に伴う、三井住友フィナンシャルグループ執行役副社長 百留 秀宗の Jefferies 取締役候補指名について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）と株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）および Jefferies Financial Group Inc.（以下、「Jefferies」）は本日、株式会社三井住友フィナンシャルグループ執行役副社長 兼 三井住友銀行副頭取執行役員 グローバル事業部門共同事業部門長である百留 秀宗が、執行役社長グループ CEO の中島 達の後任として Jefferies 取締役会の取締役候補者に指名されたことをお知らせいたします。

中島 達は、SMBC グループによる Jefferies への出資比率が 10% を超えたことを受け、2024 年 8 月より Jefferies 取締役を務めてまいりましたが、Jefferies の 3 月定時株主総会をもって退任する予定です。Jefferies と SMBC グループのグローバル戦略的アライアンスがより実行段階へと移行し、2027 年 1 月の日本株事業における合弁会社の開業に向けた準備が進む中、SMBC グループは、グローバル事業部門の共同事業部門長である百留 秀宗を Jefferies 取締役会候補に指名することといたしました。Jefferies の取締役会は、百留 秀宗を取締役候補者として指名することを全会一致で承認し、次回の Jefferies 定時株主総会において取締役選任の議案に付される予定です。

また、2025 年 9 月 19 日に公表した「米国総合証券会社 Jefferies とのホールセール日本株事業の統合を核とする戦略的資本・業務提携の強化について」のとおり、三井住友銀行は、必要な許認可または同意等の取得を前提に、公開市場で Jefferies の普通株式を約 1,300 万株追加取得することにより、Jefferies に対する経済持分を最大で 20.0% まで引き上げる方針です（転換後・完全希薄化後ベース）。なお、本取引において三井住友銀行が Jefferies の議決権の 5% 超を保有することにはなりません。

## 【メッセージ】

株式会社三井住友フィナンシャルグループ執行役社長グループ CEO 中島 達

「Jefferies の取締役としての経験を通じ、Jefferies とのグローバル戦略的アライアンスが、SMBC グループにとって適切かつ意義ある戦略的な一歩であったこと、そして今後もそうであることを改めて確認しました。Jefferies との協働のさらなる深化と、資本提携の強化により、両社のパートナーシップは一層強固となり、両社のお客さまに対し世界水準の総合金融サービスを提供するという当社の長期的な目標に資するものと考えています。百留が、私の後任として Jefferies 取締役

の候補に指名されたことを大変心強く思うとともに、私自身も引き続き、本戦略的パートナーシップのさらなる発展に積極的に関与してまいります。」

三井住友フィナンシャルグループ執行役副社長 兼 三井住友銀行副頭取執行役員 百留 秀宗

「Jefferies の取締役会の候補に指名されたことを大変嬉しく思います。これにより、中島および Jefferies のチームが策定してきた、両社の連携を一層深め、互いの強みを生かして双方にとっての価値を高めていく戦略の実行に、私自身としても貢献できると考えています。私は 2021 年以降、Jefferies との提携に密接に関与してまいりました。取締役会、リッチ・ハンドラー最高経営責任者 (CEO)、ブライアン・フリードマン社長、そして Jefferies チームとの密な連携を通じて、協働をさらに深化させ、世界のお客さまならびにステークホルダーの皆さんに、これまで以上の価値を提供してまいります。」

Jefferies リッチ・ハンドラー最高経営責任者 (CEO) およびブライアン・フリードマン社長

「過去 18 か月にわたり中島社長を取締役としてお迎えできたことを大変光栄に思います。今後の取り組みへの期待は非常に大きく、百留副社長が、両社の共同ミッションの実行を推進する上で最適な人物であると確信しています。」

以上